

よもぎた

広報

● — ないよう — ●

- 昭和54年の展望 2~3
- 特集 / ひつじどし集合 4~5
- しせつしょうかい / くらし 6~7
- わがむらの社会教育 8~9
- たんわしつ 10~11
- 戸籍の窓口 / おしらせ 12

● — 第120号 — ●



としな

1.1 1979

発行・青森県蓬田村 / 編集・広報よもぎた編集委員会

明るいゆたかな むらづくり



「明るい、ゆたかな、住みよい蓬田村」昭和四十三年に村民憲章が制定されてから、十年経過しました。今、新春を迎え心も新たに、新しい村づくりに一歩踏み出したところです。

ここに昭和五十四年度の重点事業を紹介いたします。

農林水産

地元産業の振興は、村づくりの基盤となる重要な役割を占めています。出稼ぎのない安定した生活が送られるよう、農林水産業の技術向上をめざし、次のような事業を計画しました。

- ▼ 水田再編対策に伴う転作の定着化促進
- ▼ 農漁生産物の貯蔵加工促進
- ▼ 地域農政特別対策事業（経営規模拡大・後継者づくり）
- ▼ 沿岸漁業の振興
- ▼ 第三次山振事業への立候補
- ▼ モデル事業の早期完成促進

土木

住みよい村づくりをめざし道路、橋、河川、港湾などの建設や整備をします。

- ▼ 冬期間の除雪対策強化
- ▼ 北部地区の集落連絡道整備
- ▼ 玉松海水浴場の浸蝕復旧
- ▼ 国道側溝の整備
- ▼ 公営住宅の建設対策

消防・交安

村民が安心して生活できる消防防火体制をめざしています。現在当村の防火施設は、

- ・防火水槽
 - ・四〇立方貯 十一基
 - ・二〇立方貯 十五基
 - ・消防自動車ポンプ 六台
 - ・小型積載車（可搬式ポンプ）二台
- という状態です。五十四年度は、防火水利対策と消防機械器具の整備にあたります。また、交通安全対策にも取り組めます。

民生・衛生

村民の健康を守るため、健康診断や成人病の集団検診を行い、病気の予防と早期発見につとめます。

- ▼ また、老人、子ども、身体障害者などを援護するために、社会福祉に力を入れます。
- ▼ 上水道事業の改善と整備統合

教育

明日をにやう青少年が、よい環境で学校教育を受けることができるよう、教育施設の充実をはかります。学校水泳プールの設置も検討中です。

また、みんなが自由に学べるよう各種学級、講座を開設し、社会教育の充実にも積極的に取り組めます。文化財の発掘と調査にも力を入れます。

村政の総まとめ

当村では、村内全域が調和ある発展をとげることを目標に、行政を進めています。いままで説明したほか、村政全般に関するものとして、議会の運営、税の徴収、選挙管理、重要施策の企画・調整、予算の編成、広報活動なども重要な仕事です。



蓬田村長
新年の辞

行政機能の
フル回転をめざします



坂本大博

親愛なる村民の皆様、明けましておめでとございます。昨年は、国内外の情勢も極めて多事多難でございました。しかしながら我が村において

は、村民の皆さまが一体となつて努力した結果、行政は飛躍的進歩をとげ、誠によるこびにたえませぬ。まず、水田利用再編対策事業では、一割減反、一割増収の実績で、転作への力強い基礎をつくりました。海においては、ホタテ貝毒の心配があったものの、蓬田漁港や斜路護岸等の整備も進み、将来への希望は明るくなりました。

さらには、大規模草地造成事業は着々と工事も進み、来年はいよいよ放牧可能な年となります。なお、複合経営の野菜やキノコも軌道にのりました。そこで今年からは、農産物の貯蔵加工に力を入れ、農産漁村の特質をいかして、労働収益を高めたいと思います。また、今までの実績に甘んずることなく、福祉と教育文化の振興を図り、より誇り高き郷土づくりに、行政機能をフル回転したいと存じます。

当村では、地域農政特別対策事業を計画し、話し合いの場を広め、希望に肉付けした事業を取り上げたいと思います。特に後継者の積極的な参加を切望します。それにして、モデル事業や集落道路、災害復旧事業、特に電話の自動化にはご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。今年、村議会と消防団の全国表彰が約束されています。皆さんと共に、その名に恥じないすばらしい年になりますよう心から祈念し、新年の挨拶といたします。

蓬田村教育長
新年の辞

健康で情操豊かな
人づくりをめざします



田中一雄

新年を迎え、おめでとございます。今年も皆さんと丸となつて学校教育に、社会教育に過去の反省をふまえて、覚悟も新たに邁進したいと思

います。村教育委員会としては、心身ともに健全で、豊かな情操とたくましい創造力を持ち、郷土並びに国家社会の発展に貢献できる人間像をめざし、調整のとれた教育の実現に努めます。そのためには、関係機関、団体との緊密な連携を保ち、▼家庭・学校・社会それぞれにおける教育活動の充実

上をはかり、教育環境整備に努める心構えです。学校教育については、児童生徒の基礎学力の充実をめざした教育課程の編成と実施に努めます。また、教職員の積極的研修を推進し、義務教育の万全をはかります。社会教育については、生涯の各時期に応じた学習の場と機会を拡充するため、住民の生活課題や学習要求を把握し、

社会教育の諸条件整備を行います。また、参加形態、学習媒体等の改善を図ると共に、自発的社会教育活動を促進し、地域社会の形成者である住民の意識高揚をはかります。大きな施策と方針を述べましたが、これらを実践するには、各関係機関、団体、住民の絶大なるご支援を得て推進を図らなければなりません。村民の皆さまのご協力の程をお願い申し上げます。皆さんのご健勝を祈念し、年頭の挨拶といたします。

暮らしの中の自治用語

現代はマイホーム主義の時代といわれています。地域社会も激しい人口移動、生活様式の都市化、核家族化などによって著しく変化し、住民相互の結びつきはますます薄くなっています。その結果、生活環境の悪化、人間疎外など多くの社会問題が生じています。

このような現代社会で、うるおいのある住みよい地域社会を築くためには、単に道路、下水、学校などの公共施設を整備するにとどまらず、地域住民相互の信頼と連帯感に基づいたコミュニティ（近隣社会）の育成が必要と考えられます。

現在、国や地方自治体で進められているコミュニティ対策は、このような新しいコミュニティを積極的に育成するものです。そのため、地域ごとに計画をつくり街路、公園、コミュニティセンターなど地域に即した総合的な公共施設の整備を図るとともに、その計画、運営に地域住民の参加を求め、コミュニティ活動を積極的に推進することを目指しています。

コミュニティ

現代はマイホーム主義の時代といわれています。地域社会も激しい人口移動、生活様式の都市化、核家族化などによって著しく変化し、住民相互の結びつきはますます薄くなっています。その結果、生活環境の悪化、人間疎外など多くの社会問題が生じています。

特集

ことしは
ひつじどしは、はじまりです。

ことしは

わたしたちも

ことしのえと(千支)はひつじです。そこで、村内のひつじどしうまれの方に登場してもらい、新年の夢や抱負を語ってもらいました。

四つの目標でがんばります。



青木 博
(昭. 42. 6. 30)

ぼくは、昭和四十二年六月三日、日生まれのひつじ年です。だから、今年にはぼくの年です。ぼくの家では、ひつじ年の人が三人もいるので驚きです。それはぼくとおじいさんとお父さんです。おじいさんとお父さんは仕事で、せいっぱいです。ぼくも手伝いますが、ちよっとなまけます。でも、ひつじ年の性格

は、明るくて働き者だなと思います。今年、最上級生の六年生になります。そこで、六年生になつてから四つだけやりたいことがあるのです。その一つは、六年生という小学校生活も終わりなので、まず勉強をうんとがんばるつもりです。五年生ではあんまりがんばらなかつたけど、今年にはぼくの年なので、今まで勉強できなかったところでも、がんばれば

何となくできるような気がするからです。二つ目は、やりたいことを大いにやってみたいと思います。それは、中学校になると思うぞんぶん遊べないから、今のうちにしておきたいことをするつもりです。三つ目は、修学旅行にいったら、勉強のことは忘れて、思い出に残る楽しい旅行にしたいと思います。四つ目は、野球のことです。

ぼくは野球が好きですが、今年にはスポーツ少年団があるかどうか分かりません。でもたとえなくなっても野球は絶対やめないうつもりです。東郡の大会や県大会、防犯野球大会で勝つためにも、くじけないで、せいっぱいがんばるつもりです。とにかく、最後の小学校生活だし、ぼくの年でもあるので、この四つを目標に、大いにがんばります。

デザイナーを夢みて……



最上加津留
(昭. 42. 5. 4)

ことしは私の年、ひつじ年です。十二年前は、生まれたばかりの私でも、今ではいろんなことを覚え、毎日勉強にはげんでいます。そんなに勉強してどうするのかわかっています。そう、もうあと二年もして、二回目のひつじ年を

むかえるころには、私はきっと世界でも一流のデザイナーになっていることでしょう。(別にひつじ年だからというわけではないのよ。)

そして、母には、すそにレースのたくさんついた黄緑のワンピースを、父には、世の中に一つしかないようなすばらしい青の背広を仕立ててあげようかな。

それから弟には、緑色のワイシャツを。でも、ちよっとかっこ良すぎるかな。弟には、もっとなんか勉強して家のあとを継いでもらわなくては。私は、フランスのパリへ行きます。そこで洋服についていろいろ勉強したり、有名なデザイナーと会ってきます。そして、だれにでもあうようなきれいな洋服をつくり、大きなお店に

ばいにかざります。さあ、一流のデザイナーになるために、ことしのひつじ年はせいっぱいがんばろう。みなさんも応えんしてね。



時間の余裕と心の余裕



小猿 浩
(昭. 30. 4. 25)

私たちの日常生活に大切なものは、衣食住と、現在では「時間」ということがあげられると思います。「時」というのは、時間や時刻、もっと広く言えば、四季とも言えるでしょう。

このごろ、私たちの暮らしは、時間で動いているというよりも、

時間に動かされているのではないかと感じます。

例えば、今から十年程前は、結婚式や法事があって出かける場合、始まりの時間に三〇分程遅れても平気な雰囲気がありました。ところが現在では、時間に追われながらも、なるべく間に合うように出かけて行きます。このように十年程前と現在を比較してみれば、年ごとに時間に

対する意識が強くなってきたと思います。

今でも時間ぎりぎりに会場へかけ込む人は結構います。私が以前勤務していた会社に、「五分前」という社則みたいなものがありました。例えば、会社の出勤時刻五分前、会議の始まる五分前とか。これらはすべて、これから始まる物事に対する準備時間みたいなものです。

こういう風なちよつとしたことでも、日常生活にとりいれてみれば、今よりもさらに時間に余裕を持った行動ができると思います。以前は、通勤列車と競争でホームにかけこむこともしばしばあった私です。今年からは、時間に対する余裕と、心の余裕を身につけて行動していきたいと思っています。

家族の健康が第一です。



吉田 重子
(昭. 18. 6. 23)

私は、吉田家へ嫁入りしてから、十五年になります。当時、この家族は、父母と兄弟が何人もいました。やがて、兄弟たちは一人ずつ独立して、家から離れ、私も二児の子供を産みました。その日から主人と二人で、子供の世話やら仕事に追われる

毎日です。そんなある日、突然家族の中から病人ができました。お姑さんです。病気の療養は長くかかるので、そのとき、私はまだ二十五歳でした。子供は小さいし、これからどうなるのか目の前が真暗でした。それでも、まだ二十五才だ、仕事にも負けてはいけない、根性でがんばらねばと必死でした。さまざま

うであるが、そういう考え方も、当時としては数少ないことだったと思う。

羊は一見弱そうに見えるが、その姿には可愛いさと深味があり、この年に生れたことを今さら考え直しています。また、蓬田に生れ育ちながら、村のことをあまり知らない自分に、努力が足りないかと反省しています。今年には選挙の年でもあり、蓬田村政に新風を送る新人、現人に深く目を向けてみたいところ

出来事ばかりです。主人とは、子供たちや姑さんのわけで、けんかもしました。

ひつじ年の人はおとなしい性格だと、昔からいわれていますが、私はおしとやかなところはひとつもありません。それよりも、家族は健康でなければと思

います。

私もいつの間にか三十六歳。若いときはスポーツもしました。

あのすばらしい国体演技にも参加しました。そんな中で健康こそ、第一だなあと感じていました。姑はまだ静養中です。一日も早く健康になって退院できることを待っています。主人や子供たちの健康に気をつけて、がんばりたいと思います。



自分に真実でありたい……



張間三千男
(昭. 6. 6. 14)

生れ生き、そして死んでいかねばならぬ私たちの一生は、華やかであり、また哀れでもある。「色はにおえど散りぬるを……」の言葉そのままに、人生は無情でもあると思う。人、生れて生きていく内は、華やかな人生を願うのは誰でも同じであろう。その昔、山中鹿之助は、我れに七難八苦を与え給えといったそ

うであるが、そういう考え方も、当時としては数少ないことだったと思う。

羊は一見弱そうに見えるが、その姿には可愛いさと深味があり、この年に生れたことを今さら考え直しています。また、蓬田に生れ育ちながら、村のことをあまり知らない自分に、努力が足りないかと反省しています。今年には選挙の年でもあり、蓬田村政に新風を送る新人、現人に深く目を向けてみたいところ

す。

昔から努力なくして成功はないといわれている通り、努力は生きる上で欠かせないものと今まで自分に誓ってきました。朝、職場で四十数名に作業配置をし、安全についてミーティングを行う。そしてみんなと仕事をするのが一日の日課だが、安全については一番気を使っています。今年もこうして過ごすことだろう。生きていく内は自分に真実であり、与えられた立場には

忠実でありたいと思う。また、今年には自分自身を深く見つめ直す絶好の機会でもあると考えています。

人生というものはこうありたいという欲求に対して、現実とはかく相反する場合が多いものです。今年は何となく責任を持って全身でぶつかって行こうと考えています。毎日を無為に過ごすことなく、充実した年にしたいと思っています。



12月12日老人憩の家オープン

老後を楽しく

『施設を紹介します』

◆集会室

各種会議、研修会、講習会、その他レクリエーションの場として広くご利用ください。ステレオを準備したので、歌や浪曲も聞けます。カラオケも楽しめますから、のど自慢にもどうぞ。

◆浴室

二十五人入れる大浴室が男女各一つ。待望の温泉に入り、健康の増進とふれあいの場に。泉質は、強食塩泉で（無色透明無臭塩）、県衛生研究所の分析によると、次のような症状に効用のあることがわかりました。

- ・リウマチ性疾患
- ・運動器障害
- ・創傷
- ・慢性湿疹及び角化症
- ・婦人病全般
- ・児童虚弱体質

◆機能回復訓練室

お年寄りの身体の故障、機能の衰えを回復するため、次のような器具を設備したので、ご利用ください。

お待ちどうさま。「蓬田村老人憩の家」が完成しました。玉松海水浴場のすぐ近くに建っていますので、皆さんの目にとまっていることと思います。これからは、高齢者を主体にした村民交流の場として活躍します。施設の内部も高齢者向きに配慮しました。どうぞ気軽においでください。

▼ブラ下がり健康器
正しい姿勢は健康美の象徴ともいわれ、健康な人は誰がみても正しい姿勢をしています。正しい姿勢をつくり長生きを。

▼自転車運動訓練器
これは、弱りがちな足腰を丈夫にする健康器です。サドルやハンドルは自由に調節できるので、体格に合わせてお使いください。スピードメーター、走行積算計もついています。

▼自動あんま器
二台あります。疲労回復や肩こりにどうぞ。

◆図書室

序々に図書をそなえ、老人の

みなさんが、知識と教養を身につける場にいたします。

◆娯楽室

海の見える二階の八畳間です。とりあえず、碁盤を二面準備しました。入浴のあと、さわやかな気分で、頭脳の老化防止と交友のひとつときを。

◆ロビー（ホール）

自然木を配した休息セットのコーナーをつくりました。お茶を飲みながら昔ばなしに花を咲かせ、明日の夢を語らう豊かなふれあいの場としてご利用いただきます。



▲くつろいだ雰田気のロビー

交通事故でお困りの方へ

日本損害保険協会では、青森自動車保険請求相談センターを設け、交通事故の相談に無料で応じています。専門の相談員がお待ちしておりますので、気軽にお出かけください。

- ▶ 場所 青森市長島2-10-7 ヤマウビル8階
(青森県立中央病院向い)
- ▶ 相談時間 平日 9時~16時30分
土曜日 9時~12時
- ▶ 電話 (0177) 22-1025
(0177) 76-4391

冬道 急ブレーキ、急ハンドルは命とり

急ブレーキは、普通の道路でも、しばしば事故につながります。まして、すべりやすい氷雪路は、どこもかしこも危険がいっぱいです。氷雪路を走るときは、次の点にご注意！

- ▶ 整備不良によるブレーキの片効きが起らないように、事前に調整しておきましょう。
- ▶ トラックやライトバンに荷物を積む場合、重さの配分、とくに左右のバランスに注意しましょう。
- ▶ 車間距離を十分にとり、急ブレーキは絶対かけないこと。ブレーキを踏む場合は、小きぎみに。
- ▶ 歩行者や自転車のそばを通るときは十分注意し、最低1メートル以上離れて通過しましょう。

— おみやげは、無事故でいいのお父さん —

ご意見を お寄せください

みなさまの広報に対するご意見、ご要望を係までお寄せください。村政に対する質問や要望もお待ちしています。農業クイズの答えがわかった方は、ハガキで解答をお寄せください。「広報よもぎた」をとじておく、ファイルをさしあげます。

あて先

蓬田村中央公民館

広報係

家庭の療 風邪に ご用心

インフルエンザにかかりやすいのは乳幼児と小学生、また死亡率では、老人が圧倒的に高くなっています。

乳幼児、小学生、老人——つまり、体の抵抗力の弱い年代が最もかかりやすいので、家庭では、とくにその点の配慮が必要でしょう。というのも、インフルエンザがこわいのは、抵抗力が弱くなって肺炎などの余病を誘発するからなのです。

インフルエンザで命を落とすことは比較的少ないものの、肺結核や心臓病が再発したり、ジン炎などを起こすことがあります。すから、注意が必要です。

病氣に対する抵抗力を保つためには、節制をして、体に疲労が残らないようにすること。そのためには睡眠を十分とり、栄養と休養のバランスを心がけることが大切です。

風邪ぐらい、などといいかげんな気持ちで放っておくと、取り返しのつかないことにならないうちにもかぎりません。インフルエンザは初期のうちに治してしまいうことが大切です。



水道管の冬じたく

水道管の「冬じたく」はできていますか。

気温が摂氏マイナス四度以下になると、水道の水が凍ったり、水道管が破裂したりします。もし、水道管が凍りついたり、破裂したときの応急処置は、次のようにしましょう。

〔凍って水が出ないとき〕
凍ったと思われる水道管の露出した部分に布やタオルを巻き

つけてその上から、少しずつ熱湯をかけてください。凍ったのがとけて、水が出てきます。ただし、熱湯を急にかけないでください。水道管が破裂することがあるからです。

〔破裂したとき〕

まず、元の止水栓をとめてください。止水栓がわからなかったり、止められないときは、破裂した部分に布やテープなどを巻きつけて、とにかく水を止めるようにしましょう。その上で、修理を申し込んでください。水道管を破裂させては、たくさんのお金がムダになるし、修理代もかかります。水道管には温かい思いやりを。

婦人のコーナー①

老人憩の家 と税金

老人憩の家の工費は四千万円です。この財源内訳は、県補助金二五〇万円、国民年金融資二、四五〇万円、一般財源が、一、三〇〇万円です。

この老人憩の家建築に伴い、「村民税」が高くなるのではと心配している方がいます。税金は地方税法に基づき個人法人の所得に応じて課税されるもので、公共事業（例えば老人憩の家建築）等により税負担が増えることは絶対ありません。

また、起債についても心配している方がいます。起債は地方公共団体が行う事業のうち、地方債をもって措置することが適当と認められる事業について、当村の財政事情を十分検討し、大蔵大臣が許可するものです。老人憩の家は三年据置き二〇年償還です。従って、起債であるからといって心配することはありません。

老人憩の家の利用は無料で、原則的には老人の心身の健康増進を目的としています。

わがむらの生涯教育

いづれまでも学び心を



……ぼくたちといっしょに考えようよ、お母さん(親子座談会)……

学習の場と機会を提供

当村では、村民憲章にかかげられた「明るい、ゆたかなすみよい村づくり」につながる社会教育をめざしています。そのためには、地域住民に学習の場と機会を提供すると共に、あらゆる年齢層の学習要求にあったさまざまな学習事業を実施しています。例えば、婦人学級、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室など。中央公民館では、住民が求める学習内容と社会教育に対する要望を把握するために、毎年移動公民館を実施しています。また、各種講座や集会などの事業を行い、多くの人たちの自発的な活動を援助しています。公民館はいわば、「生涯教育センター」であり、豊かな地域づくりの拠点となる「コミュニケーションセンター」ともいえます。現在年間の利用者数は、延べ一万余人を超えています。

少年教育

活発な子ども会活動

次代を担う子どもたちの校外活動として子ども会があります。子ども会の育成や指導も重要な仕事のひとつです。例年、初級リーダー(小学六年)・中級リーダー(小学一年)・上級リーダー(中学二年)の研修を行い、リーダー

ーとして必要な基礎訓練をしています。二泊三日のキャンプは、なかなかきつい生活です。それでも研修に参加した子どもたちは、すばらしい思い出ができたと言っています。子どもたちの活動をいつも見守っている世話人のお父さん、お母さんも、去る十一月二十四日、三厩村の世話人と交歓研修を開き、世話人の役割と心構えを研究しました。

青年教育

郷土に根ざした青年活動を

当村には、団員数約百名で構成している地域青年団(蓬青協)があります。県内でも活発な活動をしている青年団として知られています。むらとしても、郷土建設につながる青年団体活動の育成強化をめざして力を入れています。

特に、村独自で実施している青年国内研修は、第六回目を迎えました。この研修は、むらの若者たちを国内の先進地に派遣し、現地の教育・文化・産業・生活などにふれることにより、「ふるさと蓬田」の見直しをはかろうというものです。現地青年との交流を通しながら、青年団体活動の現状と問題点をじっくり話し合うよい機会にもなっています。



……大切なところはメモをとります(婦人学級)……

婦人教育：

よき家庭婦人
よき社会人として

婦人は、地域の中心的存在です。そこで、よき家庭婦人、よき社会人として必要な知識や技術を身につけ、婦人の資質向上をはかろうと、婦人学級を開設しています。地域の伝統・文化・行政に関する学習や、衣食住の管理、家族の人間関係、婦人自身の健康管理などをとりあげています。このプログラムの中には、

三世代婦人研修と銘打って、明治・大正・昭和の三世代の婦人や若妻が一同に集まり、明るい家庭づくりのためには、各世代の理解をはかることが必要であると、話し合いを開いています。姑は古いものを大切にすることを教えてくれるが、しばしば孫に甘い顔をするとか、子どものしつけに対する要望や問題点なども出しかつ、互いの家庭における役割を確かめあっています。また、婦人団体の自主的活動と運営を促進するために、婦人リーダーの養成をはかっています。

成人教育：

家庭教育学級は
お母さんの勉強室

最近、高校生などが在学少年の問題が大きくとりあげられると共に、学校教育、家庭教育、社会教育の提携が強くさげられています。

わがむらでは昨年度より、家庭教育学級の中に、高校生を持つ親の部をもうけ、在学青少年対策に本腰を入れはじめました。このほか、乳幼児を持つ母親、小学生を持つ母親、中学生を持つ母親といった具合に、対象別に申込みをとり、子どもの心身の発達段階にあった学級で学習できるようにしています。家庭教育学級は子を持つ親として、家庭のあり方をじっくり考える「お母さんの勉強室」ともいえるでしょう。

「いつまでも学ぶ心」は心身ともに若さをたもつ秘訣です。健康で、いきがいのある老後をめざすために、月一度の割合で高齢者教室を開設しています。約一三〇名の高齢者が登録され、平均八〇名は熱心に参加しています。



運動はひとりで行うよりも、多くの仲間と行うほうがおもしろく、長続きもします。

昨年の十月、県営競技場で開かれた婦人スポーツの集いに、当村から五〇名の婦人が出場しました。一日の仕事が終わったあとの夜の練習はきついが、みんなで顔を合わせる練習日待ち遠しかったという声も出ました。トレパン姿

も身につけて、婦人のスポーツ熱が広がっています。

県民体育大会では、村体育協会柔道部が村の部団体戦で二年連続優勝を飾り、卓球も二位という成績をあげました。練習は、社会体育施設がないので、ほとんど蓬田中学校の体育館を借りている現状です。各地区にある公民館や既存の施設を利用した巡回スポーツ教室を開き、村民の体力づくりをすすめています。年間を通して、誰でも、いつでも気軽に顔を出して利用でき、スポーツ仲間づくりもできるような村民体育館を望む声があがっています。

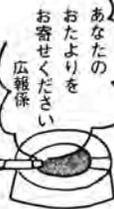
社会体育：

スポーツ仲間
づくりをすすめるよう

談

話

室



ヤング メッセージ

No. 7



川崎和幸 (広瀬)

青年祭と 〈美しき物・者〉

美しいものを、美しいと感じるようになったのは、四、五年前からである。それまでは絵画などの静物を、美しいと思うことは皆無であった。写真を自家現像するようになってからである。スナップ写真はかりであるが、自然の動きの中のある一瞬を、男は男らしく、女は女らしく写す努力をしてきたつもりである。そんな中から、写真に動を感じる、静を動に見るようになってきた。だから、本当の静

物画はいまだにわからない。そしてさらに、動の美しさがわかり、動の一部だけでは満足しなくなったのが昨今の自分である。昨年の青年祭は、そんな私にとって、一番身近な被写体に思えた。そう思ったら、いても立ってもいられない。カメラを借りる手配をし、青年祭での私の役割である音響効果と共に、照明効果の準備をしなければならなかった。本番のわずか四、

五日前である。春から基礎設計してある調整卓の製作が間に合わず、簡単なものを作った。ライトもなかなか手に入らず、作業灯を使うことになった。六時間がかりでどうにか音響装置の準備完了。さて本番はというと、この音響担当のほか、舞台にも立たねばならず、自分の手でビデオカメラを回す時間が少なかった。あとでビデオを見た時の感想ですが、プログラムの流れは次第に盛り上がりがあって最高のできであったと思う。下方からの照明がひとつも無かったので、人物の顔が暗く、背影が浮いて活気がなかったのが少し惜しい。各青年会が発表した演劇などは、自分達の個性を十分引き出して、脚色のうまさ、おもしろさがはつきり出ている。青年祭の舞台の仕上りの良さ、美しさと思うとき、各青年会の個性豊かな脚色ぶりを再認識した。今度の青年祭には、もっとこの脚色を効果的なものにしてきよう、今から準備したい。



子供会ネブタ運行と コミュニケーション

蓮田村社会教育委員 山館 清

かつてわが瀬辺地でも神楽が催され、祭太鼓の音が天満宮の高台から村中にこだましたのは十五年ほど前のことです。それ以来、祭りとしてなくその音も絶えて久しい。去年の夏のことです。子供会主催のネブタが運行され、威勢のよいハネトのかけ声と勇壮な太鼓の音が夏の夜空に響きわたりました。ネブタの先導は地元消防分団のポンプ自動車。総勢百人を超えるハネト役は子供会員、青年団、父兄、婦人会、在学高校生も加わり、各団体が協力してつとめました。ネブタの前後には安全協会の役員が交通整理にあたってくれました。ネブタが近づくにつれ門前には人々があふれ、ネブタが回転し会釈することに拍手と歓声があわおこります。

こうして短い夏のネブタ運行は終りましたが、みんなで汗を流し精一杯踊った喜びと思いが残りました。子供たちを見守っている地域の大人たちが総参加で進めた瀬辺地子供会のネブタ運行。久かたぶりの祭りばやしに本年の豊作を願ひ、心の安らぎを感じたとき、これこそまことにすばらしいコミュニケーションではないかと思えるのです。

山館委員は昨年十月十八日、宮城県仙台市で開かれた全国社会教育委員研究大会に出席しました。「明るく住みよい地域社会と社会教育のあり方」について話し合われた中から、地元瀬辺地のコミュニケーション(近隣社会)づくりを寄せていただきました。



親の立場 子の立場

No. 5

問 食事をとらずに飲みものはかりほしがり困っています。何でも食べるようにしつけるにはどうしたらよいでしょうか。

答 幼児期から、学童期にかけて食欲不振のなかつた子はまずありません。食事をとらないという子どもの中には、目の前にたつぶりもりつけられた食事の量にうんざりしている場合もあります。子どもの食事は食欲をそとるように工夫してつくったものを少量もつてやるほうがよいのです。そして、もっとほしそうな様子をしていたら、またつ

けてやったらよいのです。食事の前に甘いものを食べれば必ず食欲は衰えます。牛乳は中間食として結構なものです。子どもによっては、そのためにつぎの食事に対する食欲が衰えてしまいます。そんなときは牛乳の量を減らすようにしましょう。お母さんが熱心で、ムキになって食べさせようとすればするほど、ますます食べようとしません。そのことが、食事への恐怖にむすびつけるのです。いやな思い出は幼な心に強くやきつけられ、もう食べようとはしません。神経質な子どもにあっては、いっそうひどくなります。おいしいごちそうを作っても、それでも食べなくてもがっかりしないよう、また食べたからといってびびくりするほどほめる必要はなく、まして「おねがだから食べてちょうだい」「食べたからおちや買ってあげますよ」などといってはいいけません。全く普通に子どもの食欲を見守ってください。

幼児にとつて、おやつは大切です。でもジュース、チョコレート、キャンディーなど、甘いものを与えることによって食欲をなくしている子どもが非常に多いのです。一度ついたくせはなかなかおならないものです。

むらの文化財



ケラ
全長 120cm

（むらの文化財
展示室から）

失われゆく民具

（5）

ケラは背中をおおうようにして着用し、雨具として、また、運搬のための背中当てとして使う。材料はワラを使うことが多い。

一枚編むのに二日くらいかかる。普

段は夜なべ仕事に作るが、雨降りなどの休みのときに、ケラづくりをすることもある。津軽地方には、ケラの襟に模様を入れた夕テケラがある。和紙の中に麻の糸を入れた紙よりで、まじないの意味を含んだ模様を編んだものもある。若者は、自分の伴侶となるべき花嫁のために、夕テケラを作った。

① 日元旦

- さあ、きょうからあたらしいとしがはじまります。一年間、げんきにあそんだり、べんきょうしましよう。
- 近代オリンピックの創始者クーベルタンがこの日につまれました。古代ギリシャの遺跡発掘からヒントを得て、オリンピック競技の復興を思いつきました。

⑦ 日七草

- きょうは、ななくさを食べたおがゆをたべる日です。そうすると、びょうきにならないとむかしからいわれています。平安時代以前、中国から日本にわたってきた風習です。
- 春の七草…せり、なずな おぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ



15 日 成人の日

● おにいさんや、おねえさんが満20歳になったことをおいわいする日です。この日から一人前のおとなとして選挙権も行使できます。昔、農村で一人前の人間として認められた仕事の量は、男一人で一日田一反を耕すこと。女はその七、八分が標準とされていました。

こどものカレンダー

1月

26 日 文化財防火デー

● きょうは火災で法隆寺の大切な壁画が失われた悲しい日です。法隆寺は、いまから1,400年もまえにたてられた、世界でいちばん古い、木でつくられたお寺です。先祖の人たちが残してくれた、たからものですから、いつまでもだいじにしましょう。

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,563人)

11月受付分

●お誕生おめでとうございます

- 飯田理賀子 (誠一郎・長女)
- 藤本 忍 (衛・2女)
- 川崎 照代 (勝則・長女)
- 八幡 正雄 (榎春・長男)
- 山館絵里子 (五十一・2女)

●ご結婚おめでとうございます

- (吉崎 治 八 (蓬田))
- (高木 きみ子 (中沢))
- (木野 善作 (六戸町))
- (八戸 洋子 (阿弥陀川))
- (葛西 常雄 (青森市))
- (坂本 啓子 (中沢))
- (船橋 幸二 (平内町))
- (吉崎 静子 (蓬田))
- (細沼 保夫 (埼玉県))
- (稲葉 ヨエ子 (高根))
- (佐井 陸奥 (広瀬))
- (夏堀 修子 (八戸市))
- (工藤 洋一 (中沢))
- (大川 京子 (郷沢))
- (松原 久司 (郷沢))
- (川内 玉江 (三戸町))
- (大沢 善吉 (阿弥陀川))
- (倉岡 善一 (青森市))
- (坂本 るみ子 (七戸町))
- (長科)

●おくやみ申しあげます

- 清水 キヨ 87歳 (蓬田)
- 張間 誠 0歳 (長科)
- 阿保 みよ 57歳 (広瀬)
- 小鹿 こそ 92歳 (長科)

十二月の中旬まで雪の降る気配もなく、「なんぼ寒だ冬だバ。」と、ほめてきたが、やっぱり毎年飛んで来る白鳥とふとして、その時期になれば、降るものは降ってくる。「ついに、降ってきた!」と、降れば降ったで、なんだか安心したような気がします。広報よもぎた新年号を、みなさまにおとげします。よいお正月を!

あとかき

農業クイズ

No. 6

問 わさびは、ほうちょうで切ってもあまり辛味が出ませんが、細かい目のおろし金でおろすと辛味が出るのは、なぜでしょうか。

1. からし油の一種が小さな細胞の中に含まれているが、この細胞をこわさないと、からし油が揮発されないから。
2. からし味は、わさびのどこにでもあるが、ほうちょうで切っただけでは、舌に接触する面積が少ないから。

●——前回の解答——●

- ② 葉緑素は酸性において褐色になり、アルカリ性において青くなる。——これが正解です。

表紙のことば

蓬田青年会の若者たちが、正月を迎えるにあたり、八幡宮に奉納するトシナを編んでいるところです。夜、7時過ぎみんなで公民館に集まり、10日ばかりで完成しました。

写真撮影：細谷忠正
(蓬田青年会)

中央公民館からお知らせ

夜間、中央公民館に電話をかけるときは、夜間専用電話にかけてください。

電話番号
(017427) -2954

(この電話は、中央公民館内にある公衆電話です。)

良質米生産をめざそう

助役 八戸良次郎

本県の稲作は、昨年空前の豊作であったが、一等米の売渡しは五十六%である。当村も米どころの名は高いのだが、一等米は八・三%で誠に残念。その原因はいろいろあると思うが、昨年のような好条件下でも、多収はしたが品質が悪く、県下の最下位クラスにある。このことについて、役場としても深い反省をしているところである。水田再編対策、転作の定着化、余り米対策等難問が山積みであるが、良質米の需要が増えている現実も直視したい。昭

和五十四年度の産米対策や米づくりの技術指導には、関係機関との連携を強化したい。それには、春耕期以前から、すなわち今冬から計画的な行政指導、技術対策を樹立し、農業研究集団や農業振興組合、精米業者を主体に、農家の皆さんの協力を求め努力したい。また、今年には農産物品評会を開催したいと考えている。

新年にあたり、深い反省をして、単作地帯、米どころの名声を高めたのものである。

1月4日	●役場御用始め
1月5日	●村民書きぞめ大会 会場・蓬田小学校体育館 時間・午前10時
1月7日	●子ども会スキー研修 場所・梵珠少年自然の家 対象・小学五年・六年生 子ども会員
1月8日	●少年スポーツ教室 種目・パドミントン・卓球 時間・午前10時~12時

1月10日	●蓬田村連合婦人会幹部研修 会場・中央公民館(午前10時)
1月14日	●村民卓球大会(午前9時) 会場・蓬田中学校体育館
1月16日	●家庭教育学級(高校) 中央公民館・午後六時半



おしらせ